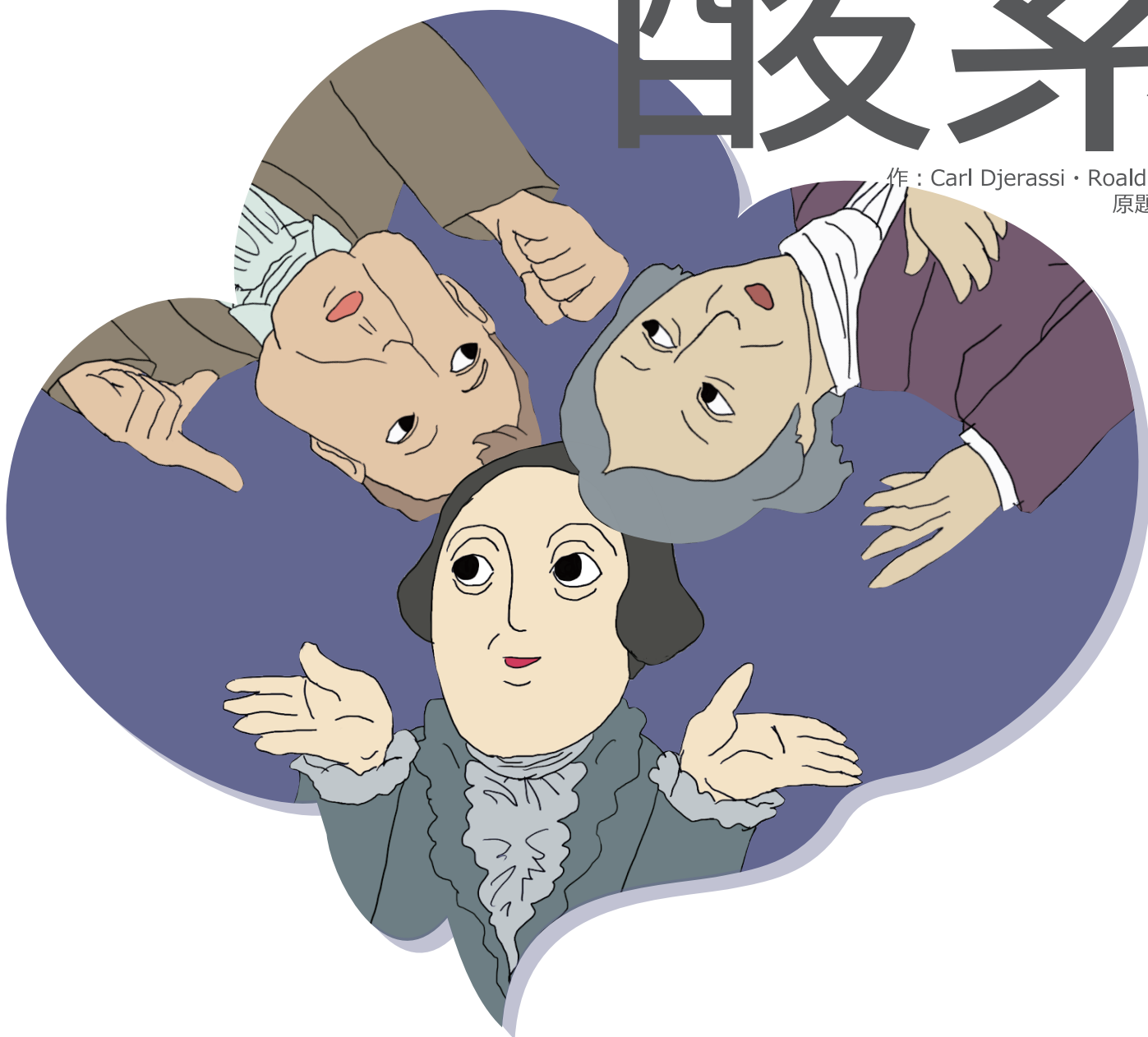


「酸素」を発見したのは誰？
レトロノーベル賞をめぐる
時代を超えた激論バトル開催！

舞台 酸素

作：Carl Djerassi・Roald Hoffmann
原題：Oxygen

誰が『発見』した？



日時 2018年10月20日（土）16:00-17:30（15:30開場）
21日（日）13:30-15:00（13:00開場）

会場 東京西荻窪 遊空間がざびい（東京都杉並区西荻北 5-9-12）

交通 JR中央線・総武線「西荻窪」駅北口より北銀座通りを徒歩8分

観劇料 大人1,000円 中学生以下500円（各回定員70名）

主催 科学読物研究会 舞台「酸素」企画委員会

チケット予約 9月15日（土）より下記メールで受付（先着順、自由席）

oxygen2018suginami@yahoo.co.jp

メールの件名には「酸素チケット」と明記し、

お名前・ご希望日・人数（大人〇名、中学生以下〇名）をお送りください。

折り返し受付番号をお送りしますので、

当日、画面に表示できるようにして受付にお持ちください。

あらすじ

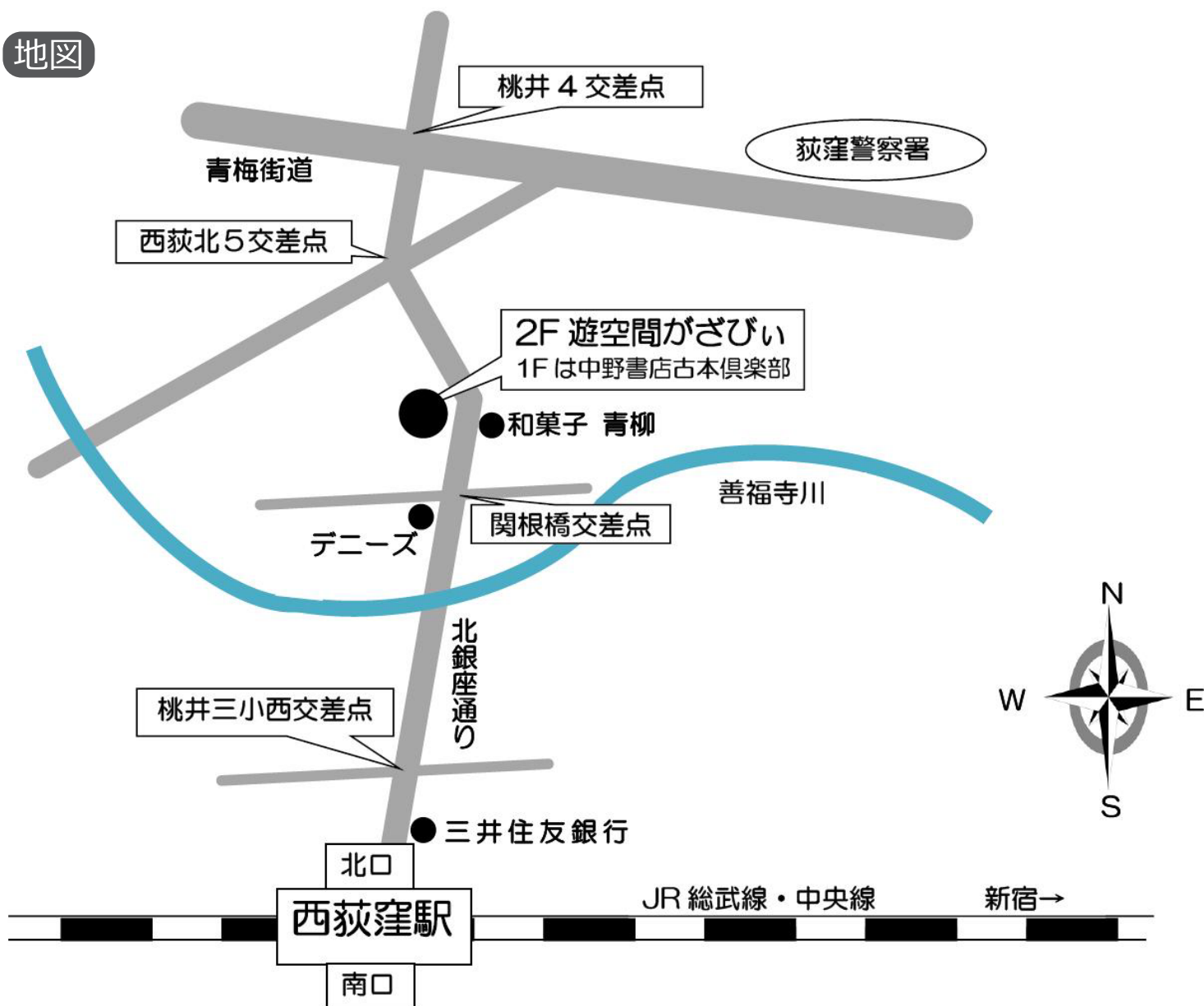
ノーベル賞が制定される以前の科学的大発見を表彰するために「レトロノーベル賞」が 2001 年に創設され、その第一号受賞者として「酸素の発見者」が選ばれることになる。酸素を発見したのは、ラヴォアジエなのか？それともシェーレ？プリーストリー…？3 人の候補者の中で誰がふさわしいかを議論する現代のレトロノーベル賞選考委員会の様子と、18 世紀の酸素発見当時の様子を交互に場面転換しながら、科学の歴史における「最初に発見すること」の重要性を明らかにしていく。科学界の偉人 3 人とその妻たちによる激論バトル！（このお話は史実に基づいたフィクションです。）

登場人物

ラヴォアジエ（蕪山剛志）
マリアンヌ（丸山小百合）
プリーストリー（相原嵩）
メアリー（矢崎恭子）
シェーレ（杉村健）
フルポール（小林玲子）

科学者・実業家として成功した若きエリート
ラヴォアジエの妻
博学な牧師
プリーストリーの妻
職人かたぎの化学マニア
シェーレの妻

地図



主催 | 科学読物研究会 舞台「酸素」企画委員会

協力 | 科博 SCA（国立科学博物館サイエンスコミュニケーター・アソシエーション）演劇分科会

企画 | 原田佐和子（科学読物研究会）、蓼田裕美・蕪山剛志（科博 SCA 演劇分科会）

演出 | 蕪山剛志